



令和7年度

# 6月 三大幼だより

江東区立第三大島幼稚園

令和7年5月30日



三大幼 HP は  
こちらから

## 「さんだいむしむしハウス」誕生！

園長 安田 徳章

5月下旬、園庭のすいすい池で生まれたオタマジャクシたちが、カエルになって池から出てき始めました。こどもたちは、そっと手に乗せてその姿をじっくりみたり、池の中を泳ぐスピードの速さに驚いたり、ジャンプする動きを真似て跳んでみたり、思い思いに触れ合い、感じたことを様々に表現していました。

園庭では、カエルの他にも、アリやダンゴムシ、ワラジムシ、バッタ、カメムシ、チョウやテントウムシやそれらの幼虫などに出会うことができます。また、飼育ケースなどで育てているザリガニやカメ、カタツムリなどもあります。身近な生き物と出会い、その姿や動きなどを観察したり飼育してお世話をしたりする中で、様々に感じたり気付いたり考えたりしているこどもたちです。

このような身近な自然に触れて探究するこどもたちの取り組みが一層豊かになることを願って、園庭の隅にあるレモンの木ごとレースなどで覆い、ビニールハウスのようなスペースを作りました。中に入ると、アゲハチョウの幼虫が自然の状態のまま大きく育ち、羽化する様子まで観察することができます。そして、年長児がそのスペースを「さんだいむしむしハウス」と名付けてくれました。



＜登園後、母親にさなぎを  
みせて説明をする年長児＞

「さんだいむしむしハウス」は、外の通りに面したフェンスとくっついているので、道を歩いている人からもさなぎの様子がみられます。アゲハチョウは、さなぎになってから10日前後で羽化するそうです。ぜひ、幼稚園の近くにいらした際は、通りから「さんだいむしむしハウス」の中の様子をご覧ください。羽化したばかりのアゲハチョウに出合えるかもしれません。



## 今月の指導のポイント



### 年中りんご組

登園すると自ら身支度をし、やりたい遊びを見付け自分なりに関わる姿が見られます。同じ場で遊んでいる友達と同じ動きをしたり、「車」「お店」などおおまかなイメージの中で、友達と同じ場にいることを楽しんだりしています。自分のしたい遊びをする中で、教師や友達と遊ぶことを十分に楽しめるようにしていきます。

遊びや生活の中で、友達に関心をもち、「○○ちゃん」と友達の名前を呼んだり、声を掛けたりする姿も増えてきました。その一方で「入れて」「貸して」などのやりとりに必要な言葉が出てこなかったり、相手に自分の思いが伝わらず困ってしまったりする姿があります。一人一人の思いを受け止め、教師と一緒に友達に伝えたり、相手の思いに気付かせたりしながら、友達と一緒に過ごす心地よさを感じられるようにしていきます。

今月からプールが始まります。プールでの水遊びを通して水の気持ちよさ、心地よさを感じられるようにします。また、プール遊びの身支度や着替えの始末の仕方なども知らせ、自分でやってみようと感じていけるようにしていきます。

### 年長にし組

年長組から使い始めた大型積み木やキングブロックで乗り物や家を作り、自分の思ったことや考えたことを伝え、イメージをもちながら一緒に遊ぶことを楽しむ姿が見られています。

イメージを実現しながら遊ぶ中で、自分の思いだけでなく、相手の言葉に耳を傾けたり、一緒に考えたりすることができるようにしていきます。また、自分たちで遊びを進める楽しさを感じられるようにしていきます。

夏野菜の生長や飼育物の様子にも興味をもち、「すいすい池」や「さんだいむしむしハウス」の様子に関心をもって関わっています。友達と一緒に考えたり、気付いたことを伝え合ったりできるようにしていきます。

今月からプールも始まります。水の感触を楽しむ、解放感を味わいながら、自分なりのめあてをもって取り組めるようにしていきます。また、石鹸を使った遊びや船作りなど、水を使った遊びを通して、自分なりに試したり工夫したりして、じっくりと遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきます。